

「持続可能な地域づくり充実事業」

【能代七夕 天空の不夜城 科技高ふるさとづくりプロジェクト】

令和6年度 天空の不夜城開催！！

今年度の「能代七夕 天空の不夜城」が8月2日（金）、3日（土）の両日、市中心部の国道101号で開催されました。本校は運行された灯籠の中で最も大きい「愛季（ちかすえ）」の引手、2番目に大きい「嘉六（かろく）」の笛・太鼓・鉦（かね）、もう一つの灯籠「能代若」および太鼓台車の引手の他、安全に運行するための警備係として参加しました。猛暑が続き、夜になってもあまり気温が下がらず暑い中での参加となりましたが、それぞれの役割をしっかりと果たし、地域の行事に貢献することができました。

本校は会場に一番近い学校として、地域の若い力の要となってそのエネルギーを生かし、全校生徒参加という形で盛り上げてきました。このプロジェクトによって、ふるさとの伝統継承について改めて考え、ふるさとを拠点とした生活を考えるきっかけになったのではないかと思います。





具体的な活動としては、専門の学習成果を生かした近隣小学校の田楽灯籠LED化、大型灯籠3基の引き手、笛、太鼓、鐘などの囃子手、運行の管理・補助を行いました。田楽灯籠に取り付けたLEDは本物のろうそくのような炎のような「ゆらぎ」を表現できました。

また、7月18日(木)のプロジェクト学習会では地域の方々を講師として招き、学習会を開催しました。ここでは、灯籠を引くときのかけ声や、綱の上げ下げのタイミング、笛・太鼓・鐘の演奏の確認などを行いました。